

## 謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

光 永 徹 氏	徳 山医師会	12月20日	享年 86
徳 田 修 氏	吉 南医師会	1月 2日	享年 99
藤 山 哲 男 氏	山口市医師会	1月11日	享年 74

### 会員の処分について

定款第13条第1項に基づき次のとおり会員（1名）の処分を行いました。

処分内容	戒告処分（令和2年12月17日付け）
処分理由	道路交通法違反（酒酔い運転）

## 編集後記

エッセンシャルワーカー、ご存知ですね。

医療・福祉関係者、小売業界の店員、物流、ライフラインにかかわる従事者など、私たちの生活を支えている職種の人たちがエッセンシャルワーカー：生活必須職従事者にあたります。私たち医療職以外のエッセンシャルワーカーには、介護福祉士・保育士、運転手、スーパー・コンビニ・薬局の店員、清掃員などの業種がありますが、これらは女性が多い、非正規雇用が多い職業です。つまり今の日本では、低報酬、不安定な雇用とほぼ同義です。従来はブルーワーカーとも呼ばれてきましたが、このコロナ禍の中で、日常生活が誰によって支えられているかを社会が認識して、感謝や尊敬の念を込めた呼称です。エッセンシャルワーカーに対する感謝を示す具体的な行動としては、ブルーライトアップや、夕方の拍手、ブルーインパルスの編隊飛行などもありました。心が暖まります。でも、残念ながら懐は暖まりません。

「花より団子」が座右の銘である私がですね、もし、昼はスーパーで夜はコンビニでレジ打ちして生計を立てているシングルマザーだとしたら、リスペクトもいいけど、もっと形にしてくれよと密かに思っていますね、きっと。形にすると、例えば、医療・介護・保育分野への報酬を増やすために社会保険料を上げる、増税をする、あるいは労働条件の悪い職業の賃金を増やすために最低賃金を上げることなどです。エッセンシャルワーカーに対する感謝は、ライトアップや拍手や飛行機の煙で表現できても、身銭を切って報いるほどでもない程度なのではないでしょうか。日本の社会はそこまで冷淡ではないと信じています。このコロナ禍で私たちは、便利さや贅沢のためでなく、健康に安全に暮らすために必要な職業が存在することを認識しました。アフターコロナになっても、その価値を適切に評価する社会であってほしいと願います。

（常任理事 長谷川 奈津江）